
令和7年度 第1回豊田市上下水道事業審議会 会議録

【日時】 令和7年7月7日（月） 午後1時30分～午後3時5分

【場所】 豊田市役所 南51会議室

- 【次第】
- 1 委嘱状交付
 - 2 審議会委員及び事務局紹介
 - 3 会長あいさつ
 - 4 議事
 - (1) 令和6年度上下水道事業決算報告
 - (2) 令和6年度水道水源保全事業決算等報告 【資料1】
 - ・水道水源林モニタリング事業等取組状況
 - (3) 豊田市の水道事業等報告 【資料2】
 - ・水道事業の主要取組
 - ・矢作川流域の上下水道の広域連携
 - ・埼玉県八潮市の道路陥没事故を受けて
 - (4) 上下水道事業のPR活動報告 【資料3】
 - 5 事業管理者あいさつ

【出席者】 <委員>

竹内 信仁（名古屋大学名誉教授）	※会長
中山 恵子（中京大学経済学部教授）	※副会長
神頭 広好（愛知大学名誉教授）	
二宮 謙治（豊田信用金庫 専務理事）	
樹神 康之（豊田商工会議所第一工業部会部会長）	
深津 浩彦（豊田市区長会理事）	
安井 新弘（豊田市小中学校長会）	
川合 寿人（豊田森林組合代表理事組合長）	
山田 雄三（豊田加茂薬剤師会監事）	
増田 比呂子（足助地域会議委員）	
西尾 方宏（下山地域会議委員）	
三江 元博（稲武地域会議会長）	
城金 茂樹（公募委員）	
加藤 有花（公募委員）	

<事務局>

前田 雄治（豊田市事業管理者）	
杉山 勝浩（上下水道局長）	
中根 武人（上下水道局副局長）	
中川 啓二（上下水道局事業担当専門監）	
広瀬 誠（上下水道局総務課長）	

	郡嶋 弘武（上下水道局総務課副課長）
	新岩 康正（上下水道局企画課長）
	村田 宗岳（上下水道局企画課副課長）
	太田 昌男（上下水道局料金課長）
	青山 博喜（上下水道局水道整備課長）
	國枝 圭介（上下水道局水道維持課長）
	浦野 大一郎（上下水道局上水運用センター所長）
	河合 保幸（上下水道局下水道施設課長）
	神谷 幸利（上下水道局下水道建設課長）
	愛知 史康（上下水道局経営管理課長）
	杉山 由佳（上下水道局経営管理課副課長）
	小島 弘一（上下水道局経営管理課主査監）
	池田 浩司（上下水道局経営管理課担当長）
	竹内 晨（上下水道局経営管理課主査）
	鷹見 麻菜（上下水道局経営管理課主事）
【担当課】	井崎 広児（産業部森林課長）
	井貝 紀幸（産業部森林課主査）
【欠席者】 <委員>	松本 嘉孝（豊田工業高等専門学校教授）
	鈴木 ひとみ（あいち豊田農業協同組合女性部部长）
	和泉 まり子（豊田商工会議所女性会会長）
【傍聴者】	なし

【議事等の摘要】

1 委嘱状交付

2 審議会委員及び事務局紹介

- ・ 審議会名簿、上下水道局の組織図で紹介

3 会長あいさつ

- ・ 昨年度は下水道使用料の見直しについて審議し、市に答申した。
- ・ 料金改定の見直しの審議は、水道料金と下水道使用料を2年ごとに交互に行っており、来年度は水道料金の見直しの審議を行っていく予定。
- ・ 料金のあり方等については、委員の皆様から多角的に審議いただくことが重要であるため、よろしく願いしたい。

4 議事

（1）令和6年度上下水道事業決算報告

（2）令和6年度水道水源保全事業決算等報告

○A委員

- ・ 水道水源林モニタリングについて、自然のデータを分析するには範囲が狭いように思う。調査の仕方を検討する考えはないか。

○担当課

- ・コロナの関係で調査期間が短かった。モニタリング期間を5年延長してデータの検証をしたいと考えている。

○A委員

- ・事業費を使っているので、調査のあり方の検討をしてもらえたらと思っている。

○担当課

- ・今後、委託先と調査をどういう形でやったら結果が出るのか検討していく。

(3) 豊田市の水道事業等報告

○B委員

- ・施設の統廃合も効率化のために必要だと思うが、緊急時のバックアップ体制と統廃合の関係をどのように考えているか。

○事務局

- ・バックアップ機能としては、主に水道の配水池を設計する時に、計画の流量に対して何割かは余裕をもたせた設計になっている。施設の統廃合においても考え方は同様である。そのほか、一部代替機能や冗長化の取組を進めているが、全ての施設を冗長化できないので、ソフト対策で対応していきたいと考えている。

○A委員

- ・南海トラフ地震が想定されている中で、長時間に渡る停電などに対応するため、燃料タンクの大型化や燃料の備蓄方法など、市民に安全で確実に水が渡る方法を考えていただきたい。

○事務局

- ・必要に応じて内部で検討する。

○C委員

- ・矢作川流域の上下水道広域連携について愛知県の動きはどうか。

○事務局

- ・愛知県は慎重に進めており、統合の形についても今後の協議会での議論となる。

○C委員

- ・広域連携をしたが思いのほか利益がなかったということもあるので、豊田市も市民のことを考えて慎重に進めて欲しい。

○事務局

- ・市民サービスの維持、向上は大前提として、議論していく。

(4) 上下水道事業のPR活動報告

○D委員

- ・小学4年生が水の勉強をするが、体験型の学習をする機会がない。施設の建て替えの際などに、子ども達が見学できるコースやプランができるとよい。

○事務局

- ・できるところは体験が盛り込めるようなことを考えていきたい。

○E委員

- ・外国では水道水源保全基金は高く評価されている。
- ・水道水源保全基金だけでなく、森林環境譲与税も有効活用をお願いしたい。

○事務局

- ・森林環境譲与税は徐々に配分が大きくなってきており、2億円規模が譲与されている。豊田市では小学校の机や椅子など幅広く森林環境税を充当しており、毎年の充当先については、財政課と相談しながら進めている。

5 事業管理者あいさつ

- ・水道、下水道料金は4年に1回見直しをすることになっている。来年度は水道料金改定の見直しがあるため、諮問させていただく。
- ・全国各地で水道管の老朽化による漏水や破裂などの事故が起きており、豊田市でも例外ではなく、発生時には職員が緊急で対応している。それ以外では、管路等の更新をストックマネジメント計画で実施している。
- ・水道のバックアップ体制については、全ては難しいが、重要な管路等は冗長化、耐震化に取り組んでいる。
- ・水道水源林のモニタリングについては、実績を示しわかりやすく説明していく。
- ・子どもの体験型学習という話では、例えばバーチャル的なものも含めて授業で使ってもらいやすいようなことを考えていく。
- ・愛知県主導の矢作川流域上下水道の広域連携については、具体的なことは協議会が設立された後に豊田市の経営に関わることが議論される可能性があり、その折には、審議会の皆様のご意見をいただきたいと考えている。よろしくをお願いしたい。

午後3時5分終了